

平成26年 第1回 議会定例会

一 般 質 問

1. 1番 岩崎 成子

2. 3番 松尾 榮子

3. 6番 軍司 俊紀

4. 2番 野田 泰博

議席 1 番 岩崎 成子 議員

【質問 1】 印西クリーンセンター次期中間処理施設について

- (1) 平成 26 年 1 月 6 日より次期中間処理施設整備事業用地の公募が開始しました。3 月 31 日までの約 3 ヶ月の間に構成する市町より、どのくらいの候補地が上がってくるのか関心を持っているところです。公募開始から 1 ヶ月が経過しましたが公募の現況はいかがか伺います。
- (2) 現施設の延命化を図るため、国の外郭団体である一般財団法人「日本環境衛生センター」にクリーンセンターの機器等詳細調査を依頼し、平成 25 年 11 月に中間報告をいただきました。この中間報告全体に対する管理者の見解を伺います。

【質問 2】 印西地区一般廃棄物最終処分場について

- (1) ごみの減量化の推進や民間企業への焼却灰の搬出等で最終処分場への焼却灰の埋立て量が減少し、当初の計画より 15 年程、延長して利用できる見通しとなっています。現在の最終処分場を更に延長して利用していくためには、地元の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。そこで、次の点について伺います。
 - ① 地元説明会が実施されましたが説明会の内容等について伺います。
 - ② 延長して利用することについて、地元の皆様の認識について伺います。
 - ③ 現在の最終処分場が、平成 8 年建設着工するまで、地元の皆様のご意見等をお聞きし、また、ご理解をいただき建設に至ったと聞いています。地元対策や地元との約束事等が実行されているかどうか。また、検証されているかどうか。伺います。

【質問 3】 「印西地区ごみ処理基本計画」について

- (1) 平成 25 年度の「ごみ処理基本計画」の見直しを踏まえて、新たな「印西地区ごみ処理基本計画」策定の進捗状況を伺います。

議席3番 松尾 榮子 議員

【質問1】 印西地区ごみ処理基本計画（素案）について

(1) 計画期間を平成26年度から平成40年度とする15年間の超長期計画とした理由について。

(2) ごみ減量の目標値について

目標年度の平成40年度におけるごみ排出量の目標値は、家庭系ごみで平成12年比33.4%減の430.0g/人・日、また、事業系ごみで平成12年比42.6%減の130.0g/人・日、総ごみ排出量原単位は760g/人・日となっている。この目標達成には相当の市民家庭、企業の協力が必要と思うが、設定に無理はないか、どのように協力を得ていくか。

(3) 家庭系・事業系を併せた年間の総ごみ排出量について、印西地区はこれまでも人口、企業数等が大変大きく変動してきており、将来人口や企業数等の予測の変動等もあると思うが、この範囲で収まると考えられるか。

(4) ごみの有料化について

計画実現のためのアクションの一つとして、ごみの有料化の調査・検討が挙げられ、印西地区全域での有料化の導入の推進が掲げられているが、15年間の基本計画の中で、具体的に前・後半、どの時期に導入を考えているか。

【質問2】 印西クリーンセンター次期中間処理施設の整備について

(1) 次期中間処理施設の概要について

ごみ焼却施設は日量156t程度、リサイクルセンターは日量15t程度と見込まれているが、それぞれの規模の根拠について。

(2) 次期中間処理施設候補地の公募について

① 現在までの応募の動き（応募書類の申請件数等）はどうか。

② 公募終了後、建設予定地決定までの期間について。

26年3月末まで候補地を公募後、関係市町の推薦地、現在地を加え、3次審査までを行い、印西地区全体への報告会を開催した上で、7月、最終結果を管理者へ報告することであるが、4、5、6月に何回の会議を開催するのか、検討委員会の委員が各候補地の状況をよく理解した上で検討できるのか、期間的に無理はないか。

(3) 候補地の比較評価について

① 前回検討委員会における比較評価から変わった主要な点について。

② 評価小項目「概算事業費」について。

③ 評価小項目「地域活性化への寄与」について。

(4) 現施設の延命化について

12月、延命化に関する調査の中間報告が行われたが、これについて、一般市民に、いつ、どのように広報していくか。

議席6番 軍司 俊紀 議員

【質問1】 印西クリーンセンターの延命化と次期中間処理施設整備スケジュールについて

「印西クリーンセンター」の延命化と施設整備スケジュールは大きく関連するものと考えますが、組合としては現状をどのように捉え、今後どのように施策をすすめるのだろうか。

- (1) 延命化について、組合では意思統一が図られているのか。
- (2) 延命化について、具体的なスケジュールは、いつ頃までに決定するのか。
- (3) 現在、行われている用地募集の現状はどうなっているのか。
- (4) 「用地検討委員会」は当初予算で決められていた予定回数を既に終えているが、本格的な検討は用地候補地がでてからだと考えるが、どのように整合性を保つのか。
- (5) 「用地検討委員会」は今後、「予定候補地」を選定する流れとなるが、管理者・副管理者は答申される「候補地」をどのように取り扱うか。
- (6) 延命化と施設整備について、地域住民に広く説明すべきものだと考えるが、組合としてはどのように取り扱うか。

【質問2】 小規模家電リサイクル法が今年度から実施されたが、組合では今後どのような対応を行うのか。

- (1) 構成自治体（印西市・白井市・栄町）とどのような話し合いがされているのか。
- (2) 組合として、今後のスケジュールは検討されているのか。

【質問3】 平岡自然公園の運営について

- (1) 平岡自然の家における除染作業はどのようなスケジュールで行われているのか。
- (2) 平岡自然公園内のグラウンドの芝生化はどのような予定となっているのか。
- (3) 平岡自然公園へのアクセスに対する苦情が寄せられるが、組合としては対応策はあるか。

議席 2 番 野田 泰博 議員

【質問 1】 板倉管理者が再三議会で明言されている建設場所の腹案は用地検討委員会に文書で提出したのか。もしもお出しになっていないなら委員会が設定した提出期限 3 月 3 1 日までに提出されるのか。

【質問 2】 板倉管理者が反対していた前任者のクリーンセンター移転建設費総額 2 0 0 億円の内訳を示して、板倉管理者の試算した新規の建設案はおおよそどのくらい安くなるように見積もっているのでしょうか。

【質問 3】 9 住区でのゴミ処理施設建設の白紙撤回理由は何であったか。

【質問 4】 現在の駅前一等地（テニスコート用地含む現施設）にゴミ処理施設など絶対に作らせないと明言していたが、その理由は何か。